

情報公開用文書

西暦 2022 年 1 月 26 日作成

研究課題名	肝臓がん患者の出血傾向と TFPI-1 の関連の解析
研究の対象	2015 年 1 月～2020 年 12 月の間に当院にて肝臓がんの手術を受けた患者さんのうち、包括的な研究協力に同意して頂いて、研究用血液が保管されている方。(対照とする健常者の血液検体は文部科学省が支援するプラットフォームを通じて別途入手します)
バイオバンクから提供する検体	健常者血清 30 検体 試料採取日 2017 年～2021 年の 6～7 月
研究目的・方法	肝硬変、肝臓がんの患者さんには出血傾向があることが知られ、時に致死的となります。この研究の申請者はこれまでに肝細胞がんの細胞が血液の凝固を阻害する物質(TFPI-1) を分泌していることを見出しました。このことは TFPI-1 が出血を助長する要因の一つとなる可能性を示唆しています。この研究では、健常者血清を対照として、肝臓がん患者さんの血清中の TFPI-1 量を測定して比較検討を行います。また、手術で切除されたがんの解析を行います。臨床における出血に TFPI-1 が関与するかを検証して、より良い患者さんの治療につなげることを目的としています。
研究期間	2021 年 11 月 22 日～2023 年 3 月 31 日
研究に用いる試料・情報の種類	肝臓がん患者の血清および外科切除組織、健常者血清
バイオバンクから提供する情報の種類	年齢・性別・試料採取日
問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 横浜市立大学先端医科学研究センター内 バイオバンク室 電話：045-787-2592 メール：sentanbb@yokohama-cu.ac.jp	